

令和7年度
小学校第5学年
算 数

注 意

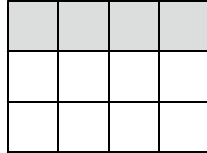
- 1 「始め」の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 先生の指示^じがあってから、組、出席番号、名前を書いてください。
- 3 問題は、1 ページから12ページまであります。
- 4 答えは、すべて解答用紙^{かい}の指示された場所に、はっきりと書いてください。
- 5 問題用紙のあいている場所は、自由に使ってもかまいません。

組	出席番号	名 前

1

次の(1)から(4)の問題に答えましょう。

- (1) 次の長方形の色をぬった部分を表す分数を、あとのアからエまでの中から 1 つ選んで、その記号を書きましょう。



ア $\frac{1}{4}$

イ $\frac{1}{3}$

ウ $\frac{4}{8}$

エ $\frac{2}{3}$

- (2) 答えが $100 - 20 \times 3$ の式で求められる問題を、次のアからエまでの中から 1 つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 1こ100円のガムを1こと、1こ20円のあめを3こ買いました。
代金はいくらですか。

イ 1本100円のペンが20円引きで売られています。そのペンを3本
買いました。代金はいくらですか。

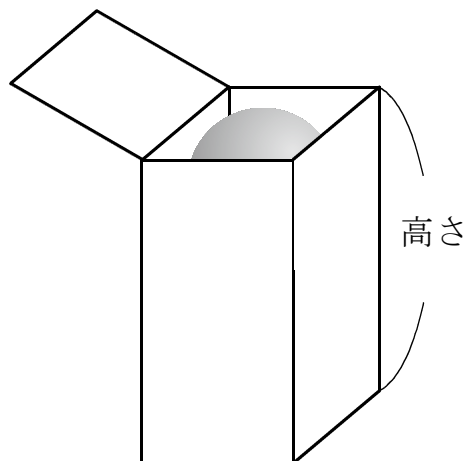
ウ 1本100円のペンと1本20円のえんぴつを、3本ずつ買いました。
代金はいくらですか。

エ 100円玉を1まい持って買い物に行きました。1こ20円のあめ
を3こ買いました。おつりはいくらですか。

- (3) 次のような方がんに 2 本の直線がかかれています。この方がんに直線を 2 本かき入れ、平行四辺形をかきましょう。

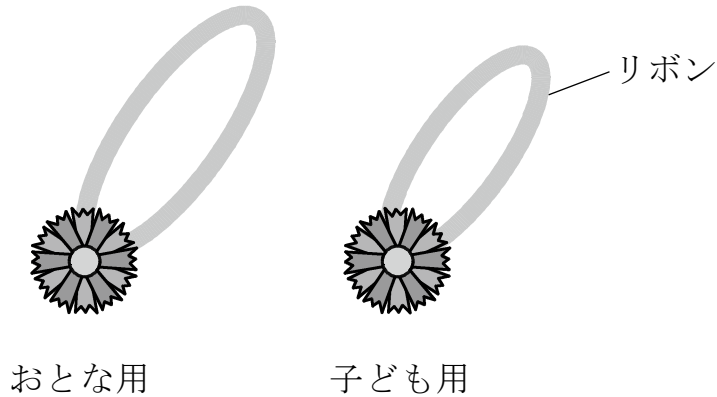


- (4) 次の図のように、直方体の形をした箱の中に半径 3 cm のボールがぴったり 2 こ入っています。この箱の高さは何 cm ですか。答えを書きましょう。



2

なおみさんたちは、学習発表会のために、プレゼントするメダルをつくっています。おとな用のメダルと子ども用のメダルをそれぞれ20こつくと、リボンの長さはどのくらい必要になるのかについて考えています。メダル1こに必要なリボンの長さは、おとな用が100cm、子ども用が80cmです。



なおみ

わたしは、 100×20 + 80×20 の式で求められると思います。



あきら

わたしは、($100 + 80$) $\times 20$ の式で求められると思います。

なおみさんの「 100×20 」とあきらさんの「 $100 + 80$ 」は、それぞれ何を表していますか。次のアからエまでの中から1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

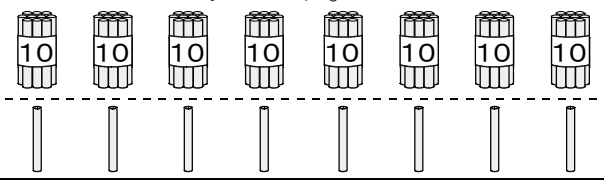
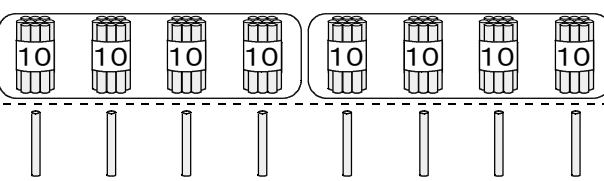
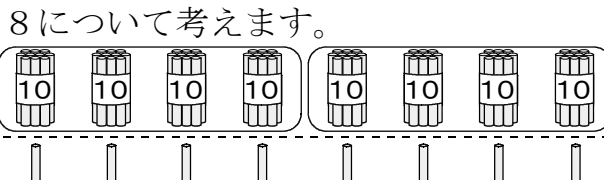
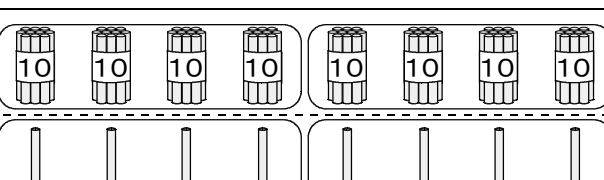
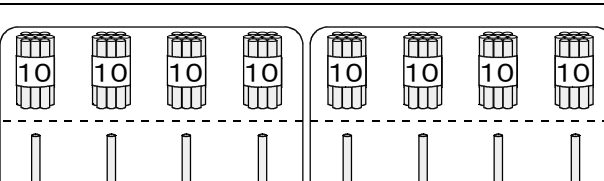
- ア おとな用のメダル20こに必要なリボンの長さ
- イ 子ども用のメダル20こに必要なリボンの長さ
- ウ おとな用のメダル1こと子ども用のメダル1こに必要なリボンの長さ
- エ おとな用のメダル20こと子ども用のメダル20こに必要なリボンの長さ

3

まことさんは、 $88 \div 2$ の筆算について、次のように数えぼうを使って手順ごとに説明しました。 は10、 は1を表しています。

【 $88 \div 2$ の筆算】

【まことさんの説明】

手順1 $\begin{array}{r} 2 \overline{)88} \end{array}$	80について考えます。 
手順2 $\begin{array}{r} 4 \\ 2 \overline{)88} \\ 8 \end{array}$	
手順3 $\begin{array}{r} 4 \\ 2 \overline{)88} \\ \underline{8} \\ 8 \end{array}$	8について考えます。 
手順4 $\begin{array}{r} 44 \\ 2 \overline{)88} \\ \underline{8} \\ 8 \\ 8 \end{array}$	
手順5 $\begin{array}{r} 44 \\ 2 \overline{)88} \\ \underline{8} \\ 8 \\ \underline{8} \\ 0 \end{array}$	

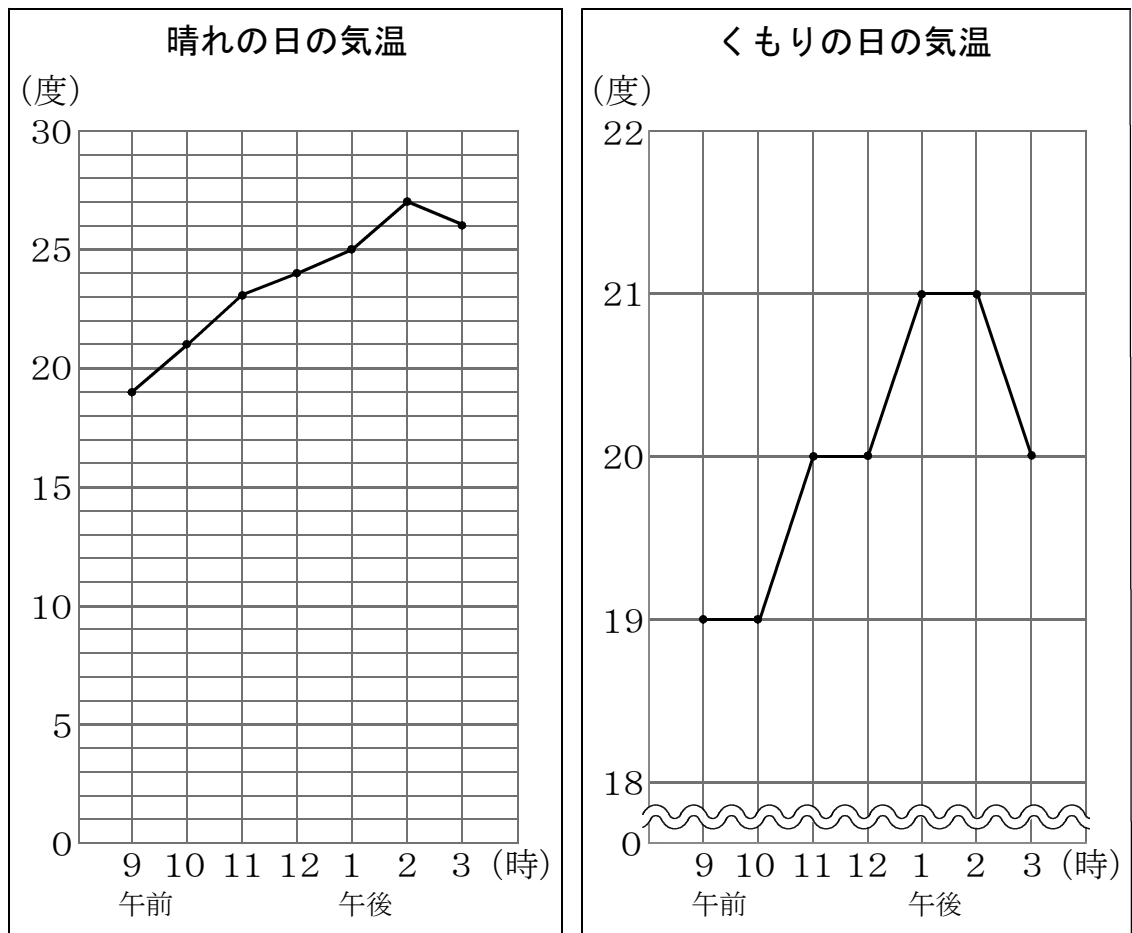
手順2で、十の位にたてた「4」は、次の式のあ、い、う、えのどの計算をした結果を表していますか。1つ選んで、その記号を書きましょう。

$$\begin{aligned}
 88 \div 2 &= (\underbrace{80 + 8}_{\text{あ}}) \div 2 \\
 &= \underbrace{80 \div 2}_{\text{い}} + \underbrace{8 \div 2}_{\text{う}} \\
 &= \underbrace{40 + 4}_{\text{え}} \\
 &= 44
 \end{aligned}$$

4

としおさんたちは、^{はん}班に分かれて気温の変わり方について調べることになりました。

A班は晴れの日について、B班はくもりの日について、午前9時から午後3時までの1時間ごとの気温を調べ、次のような折れ線グラフに表しました。作成したグラフを見ながら話合っています。



としお

午前10時から午前11時までの間で、晴れの日とくもりの日のどちらのほうが気温の変わり方が大きいですか。



あゆみ

午前10時から午前11時までの間の気温の変わり方をくらべると、くもりの日のほうが気温の変わり方が大きいと思うのですが、どう思いますか。



その考え方は、(正しい ・ 正しくない) です。

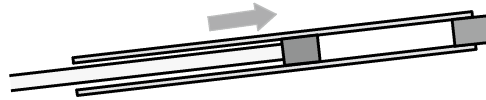
理由は、

からです。

あゆみさんの ~~~~ 部について、正しいですか。正しくないですか。
解答用紙のどちらかを○でかこみ、としおさんの にあては
まる説明を言葉と数を使って書きましょう。

5

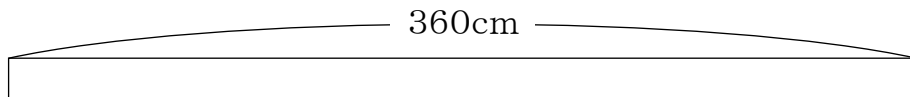
とおるさんたちは、空気でっぼうの玉が飛んだきよりをくらべました。(1)から(4)の問題に答えましょう。



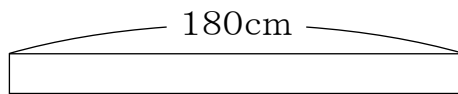
空気でっぼうの玉が飛んだきより



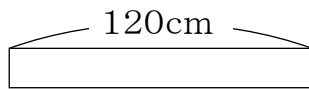
とおる



みさき



こうじ



みさき

わたしの記録は180cmで、とおるさんの記録は360cmですね。180cmを1としたとき、360cmは2にあたる大きさになりますね。



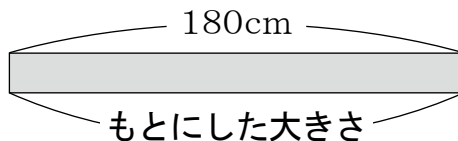
とおる

「180cmを1としたとき」とは、どういう意味ですか。180cmは1mではありません。



みさき

「180cmを1としたとき」というのは、「180cmをもとにしたとき」という意味です。



こうじ

なるほど。「1とする」とは、「もとにする」ということなのでですね。

それなら、わたしの記録の120cmをもとにして考えてもいいのでしょうか。





みさき

もちろん、いいです。どんな大きさでも1として考えることができます。

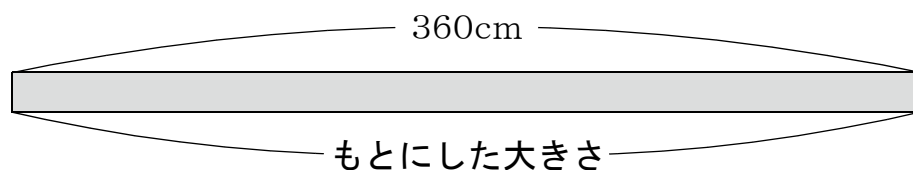
こうじさんの記録の120cmを1としたとき、360cmは $\boxed{\text{ア}}$ にあたる大きさになります。



とおる

こうじさんの記録の120cmを1とすると、みさきさんの記録の180cmは $\boxed{\text{イ}}$ にあたる大きさになります。

では、360cmを1とすると、180cmはいくつにあたるのですか。



こうじ

もとにする大きさのほうが大きい場合は、わかりづらいですね。

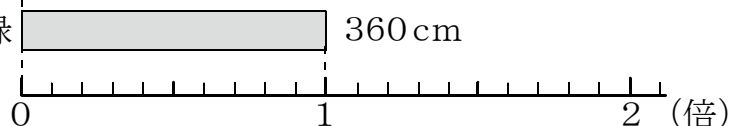
360cmを1とすると、180cmがいくつにあたるかは、

$\boxed{\text{ウ}}$ という式で求められます。

図に表してみます。

みさきさんの記録

とおるさんの記録



とおる

わかりました。「いくつにあたる」は「何倍にあたる」という意味ですね。

- (1) ア にあてはまる数を書きましょう。
- (2) イ にあてはまる数を書きましょう。
- (3) ウ にあてはまる式を書きましょう。答えは書かなくてかまいません。
- (4) こうじさんの図にみさきさんの記録をかきこみ、図を完成させましょう。

6

ゆいなさんたちは、2つのことがらについて、表に整理しています。
(1)から(6)の問題に答えましょう。



ゆいな

わたしは、好きなおにぎりの具とのりについて、アンケートを行いました。

好きなおにぎり調べ（人）

		の り		合計
		ま く	まかない	
具	さけ	7	6	13
	こんぶ	5	4	9
	うめ	2	1	3
合計		14	11	25



けんた

わたしは、表の見方がよくわかりません。

たとえば、表の中にある「4」は何を表しているのですか。「具」については「こんぶ」を選んだ人数ということはわかるのですが。

好きなおにぎり調べ（人）

		の り		合計
		ま く	まかない	
具	さけ	7	6	13
	こんぶ	5	4	9
	うめ	2	1	3
合計		14	11	25



ゆいな

横だけでなく、たても見てくださいね。「具」については「こんぶ」を選び、「のり」については「まかない」を選んだ人数です。

好きなおにぎり調べ（人）

		の り		合計
		ま く	まかない	
具	さけ	7	6	13
	こんぶ	5	4	9
	うめ	2	1	3
合計		14	11	25



けんた

なるほど。表の見方がわかりました。

ということは、表の中にある「2」は、

㊦

を表しているのですね。



しおり

「具」について、「こんぶ」を選んだ人数は、「うめ」を選んだ人数の ㊦ 倍になっています。

では、「のり」について、「まく」を選んだ人の中で、どの具を選んだ人がいちばん多いかは、表の中のどの数をくらべるとわかりますか。



けんた

それは、㊧ です。

また、どの「具」についても、「のり」については「㊧」より「㊦」を選んだ人数が多いことがわかります。

今度、お店に行ったときに、売られているおにぎりについて調べてみたいです。

- (1) ゆいさんの ~~~ 部を参考にして、㊦にあてはまる言葉を書きましょう。
- (2) ㊦にあてはまる数を書きましょう。
- (3) ㊧にあてはまるものを、次のあからおまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

あ 7と5と2

い 6と4と1

う 7と6

え 5と4

お 2と1

- (4) ㊧と㊦にあてはまる言葉を書きましょう。



わたしは、けん玉やあやとりをしたことがあるかどうかについて、13人に聞き、次のように記録しました。これをあとの表に整理してみます。

けん玉とあやとり調べ

出席 番号	けん玉	あやとり
1	○	×
2	○	○
3	×	×
4	○	○
5	○	×
6	○	○
7	○	×
8	×	○
9	○	○
10	×	○
11	○	×
12	○	○
13	○	○

○…したことがある

×…したことがない

けん玉とあやとり調べ（人）

		あやとり		合計
		○	×	
けん 玉	○			
	×			
合計				

○…したことがある

×…したことがない

- (5) けんたさんのアンケートの記録を整理し、表の中にあてはまる数を書きましょう。

- (6) しおりさんは、長方形、正方形、台形、平行四辺形、ひし形のそれぞれの対角線について調べ、次の表のように、A、B、Cの特ちょうがいつもあてはまるものには○、あてはまらないものには×をつけ、整理しました。表の㊦にあてはまる四角形の名前を書きましょう。

	()	長 方 形	(㊦)	()	()
A 2本の対角線の長さが等しい。	○	○	×	×	×
B 2本の対角線がそれぞれのまん中の点で交わる。	○	○	○	○	×
C 2本の対角線が すい 垂直に交わる。	○	×	○	×	×

必要ならば、次の方がんを使って考えてもかまいません。

